

取締役および監査役に対する報酬(2015年12月期)

取締役および監査役の報酬などの総額 283百万円		
区分	人数	支払額
取締役	9名	241百万円 (うち社外取締役 2名 17百万円)
監査役	5名	41百万円 (うち社外監査役 2名 10百万円)

注) 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれていません。

注) 上記には、2015年3月27日開催の第70期定時株主総会終結の時をもって退任した監査役1名を含んでいます。

内部統制

千趣会および関係会社8社で 整備・運用状況を評価しています。

業務運営の状況の把握と改善を図ることを目的に、「財務報告に係る内部統制の整備・運用規程」など各種社内規程に基

づいて内部監査を実施し、社長に報告することとしています。

財務報告に係る内部統制については、2015年度は全社統制(千趣会および、連結子会社7社と持分法適用関連会社1社に対して実施)のほか、7つの業務サイクル※における内部統制の整備・運用状況の評価を実施し、「有効」と評価できる状態になっています。そのほかの業務運営の状況(関係会社含む)についても、年間監査計画にしたがって内部監査を実施し、業務がより健全かつ効率的に運用できるよう改善を図っています。

また、内部統制に関する教育として、「内部統制eラーニング2015」を実施し、1,513名(千趣会:919名、全社統制評価対象の関係会社:594名)が受講しました。

※ 販売・商品購買・販売促進・媒体関連・棚卸資産集計・財務・財務報告の7業務それぞれに設定した内部統制のサイクル

社外取締役からのコメント



客観的な視点から、
商品開発やダイバーシティ
推進をサポートしていきます

大石 友子
取締役

私はこれまで、行政機関において「女性労働」の視点で、女性の生き方・働き方の調査データをもとに就業・起業支援事業に取り組んできました。また、大学や学会での研究活動や、複数企業の人材活用などのアドバイザー、国や地方自治体の経済関連委員を務める中で、企業経営に関する知見も積んできました。

千趣会は、早くから社外取締役や監査役制度などを導入し、内部統制の整備運用についての監査や全従業員を対象とした「内部統制eラーニング」も実施するなど、透明性の高い経営システムが構築されていると感じています。さらに、女性に貢献する企業として、子育て支援や地球環境保護などの社会貢献活動を一層推進することを望みます。

独立性のある役員として、一消費者として、一般株主の利益に配慮した視点で提言することが私の役割と認識しています。昨今の女性たちのライフスタイル・意識の変化を捉えた商品開発にとどまらず、ダイバーシティ推進のための環境整備などの千趣会の取り組みが他社のお手本となるモデルとして広く認知され、企業価値の向上につながるよう力を尽くしていきます。



経験を活かし、
決算説明のよりわかりやすい
情報開示を働きかけていきます

佐野 利勝
取締役

私は銀行や生命保険会社で長く大手企業を担当し、決算報告を聞く立場にあったため、社外へのわかりやすい説明のポイントを熟知しています。また、銀行本体の企画部門や子会社の社長を歴任する中で、厳しい基準下でのガバナンス、コンプライアンス実践を経験してきました。

こうした経験を活かし、千趣会の社外取締役として助言をしてきた結果、就任した8年前に比べて千趣会のガバナンスやコンプライアンスの意識・体制は格段に進んだと感じています。取締役会の配布資料やそこで交わされる議論も、株主や投資家をはじめとするステークホルダーを十分意識したものになってきました。

製造業などに比べると小売業は取扱商品が多く、原価率やバーゲン商品、在庫評価損などの計算が非常に複雑で、決算説明は社外だけでなく社内の理解を得るにも工夫が必要です。従業員一人ひとりの損益分析の理解も、まだ十分とはいえません。また、社外への公約でもある中長期経営計画の説明も重要です。より効率的な経営をめざす観点からも、社内外へのわかりやすい情報開示ができるよう、これからも働きかけていきます。